



# 第30回 宮崎「橋の日」 イベント写真報告



8月4日(木)宮崎市の橋橋にて、「橋の日」イベントを200名の参加で実施。式典では、戸敷市長、国土交通省宮崎河川国道事務所 鈴木所長よりご挨拶を頂き、その後、橋への献花、橋磨き、点字ブロックの清掃(協力:宮崎県鋼橋コンクリート構造物塗装協同組合)を行いました。

## ■ 活動30周年記念「橋を通じた地域づくりシンポジウム」開催 於: 8/19 宮崎市オルブライトホール



基調講演:「地域の森林資源を使って架ける私達の橋」  
渡辺 浩氏



基調講演に、松村 博氏(元大阪市建設局)や渡辺 浩氏(福岡大学教授)。県内から(有)一ツ瀬建設 女性技術者 中武倫子氏他、国、県、市の職員から、橋を通じたまちづくりについての事例を紹介していただきました。参加者からは「地域と橋の結びつきの深さを再認識できた」「事例がとてもわかりやすく参考になりました」「話題が様々で大変良かったと思います」「思っていたより地域住民等の橋への思いがすごいと思った」等の意見が寄せられました。

## ■ 地域のお宝再発見ツアー (大分編) 9/17~9/18



今回のお宝再発見ツアーは、大分県へ1泊2日にて訪問。見学した土木遺産が前回訪問時より、整備・保護されていることが印象的でした。



院内町の、石橋の貴婦人「鳥居橋」を訪問。

## ■ 大淀川橋梁架橋101年記念パネル展



宮崎「土木の日」パネル展にて、鉄道の歩みや大淀川橋梁の歴史等を紹介するパネルを展示しました。子供連れはもとより、ご夫婦連れなど、様々な方が大淀川橋梁のパネルをご覧になっていました。

2016.8.5 読売新聞 掲載

## ■ 紙芝居の上演会開催中

「福島邦成と橋橋」「とんとところ地震」の紙芝居の上演を宮崎市内各所で行っています。ご希望の方は、事務局までご連絡ください。(料金無料)



## 「橋の日」感謝の清掃 宮崎で高校生ら



橋の欄干を雑巾で拭き上げる生徒ら

県内発祥の記念日で、語呂合わせで「橋の日」(8月4日)の4日、宮崎市の大淀川にかかる橋橋で記念イベントが開かれた。高校生ら約200人が欄干を手分けして磨き、橋への感謝の気持ちを表した。橋の日は1985年、延岡市出身で橋梁メーカーに勤めていた湯浅利彦さん(74)が記念日にしようと提唱。翌年に延岡市、翌々年には宮崎市で清掃活動が始まり、徐々に全国に広がっていった。94年には日本記念日協会が認定。湯浅さんは「橋がなければ人は行き来できない。橋は人と人を結びつける心の懸け橋でもある」と話す。記念イベントでは、宮崎市の宮崎学園高の生徒と市民有志が集まり、橋橋の記念碑に献花。長さ389mある橋の欄干を雑巾で拭いた。同校2年の湯野宮早紀さん(16)は「欄干を拭きながら『やっぱり橋がないと不便だな』と改めて感じた」と話していた。

## 宮崎「橋の日」実行委員会

事務局: 宮崎市佐土原町下那珂 2574-6  
担当: 鶴羽(つるは)  
連絡先: 090-9566-4159  
FAX: 0985-72-2730



